



真青の空

練馬区立

石神井西中学校学校だより

令和7年7月18日(金) 7月号

校長 小林 寿典

『大人も我慢が必要』

校長 小林 寿典

「挨拶ができる学校ですね」来校される方々からいつも褒めていただきます。そんな時、私は「そうですよ!」と言っています。始業時間の8時15分、職員室では起立し、一瞬の間で呼吸を合わせ、教職員間で挨拶を交わします。8時25分、登校してくる生徒の皆さんは友達や先生方と挨拶を交わしています。学校によっては、見ず知らずの人だと声もかけなかったり、友達との話に夢中になって目も合わせなかったりする人も多いです。

「挨拶ができない学校の人たち」ができるようになるまでには、実はとても時間がかかります。そして、教員も「挨拶ができるようにする!」という強い気持ちで臨みます。途中で気持ちが途切れないように何年もかけてできるようになるといわれます。おそらく、石神井西中学校や挨拶ができる学校の生徒の皆さんは、本人の気持ちだけでなく家庭でも様々なコミュニケーションをとり、挨拶がしっかりできるように習慣化されているのだと思います。このように、教職員や保護者の方々の率先した行動が、子供たちのロールモデルになっているのだと思います。



「挨拶を交わす」とは、自分の一方的な行動ではなく、相手を捉え(静止・注視)、意識を向け(尊重)、関係をつくる(コミュニケーション)のこと。「挨拶を交わす」場面は生活の中でたくさんあり、社会において「生きる力の源」です。「小さいころから、提示された選択肢に対して自ら決める」これは経験(体験)があつてこそ。選択できる場を意図的に設定し、様々な方法で意思表示する。その過程こそが「主体性を育み」、培われた力は「自己(意思)決定」へつながります。しかし、「子供の意思の表れを、誰もがキャッチする術(感度とスキル)はあるのか。」「大人は子供のできることに、手や口を出し過ぎていないか。」「何でも心配で本人よりも親が動き過ぎていないか。」「周囲の意識がとても重要です。親や先生がいなければ何もできない人間になってしまうとすれば、周りにいる大人の責任です。」「18歳になり選挙権を有し投票に行く姿」、「社会に出て責任ある行動をして活躍している姿」等を今から見据えることも大切だと思います。

「家庭」と「学校」が同じ方向(共通の目標)でいること＝家庭や学校での学びを地域で汎化することで一層の効果が得られます。「家庭(教育)」と「学校(教育)」のみならず、「地域」そして「子供たち自身」の4者の調和を基盤に、「なりたい自分になる、なりたい自分を見つける!」学びを深化させる教育の展開に、共に取り組んでいただくと幸いです。

長い夏休みに入ります。ご家庭において「子供主体」でいろいろなことを経験させてみてはいかがでしょうか。そして、失敗しても怒らないでくださいね。

※学校だよりは、4月・7月・9月・12月・1月・3月の発行です。よろしくお願いいたします。

『夏休みを迎えるにあたって』

1学年主任 山岡 賢太郎

早いもので入学式から約 4 か月が経過し、1 学期も終わりを迎えようとしています。新年度が始まってから生徒たちはさまざまな経験を重ねながら、着実に成長してきました。

1 年生は、小学校からの大きな環境の変化にも少しずつ慣れ、今ではすっかり中学生らしい表情を見せるようになってきました。

入学後、最初の行事となった運動会では、2・3 年生の動きについていくのがやっとでしたが、体育委員を中心に各クラスが演技や競技がどうすればより良くなるかを考え行動に移していました。運動会を通して石神井西中学校の伝統を引き継ぎ、来年度は先輩として新 1 年生の良きお手本となってくれるよう期待しています。

また、先日行われた定期考査では、多くの生徒が勉強を真剣に取り組んでいました。初めての定期考査ということもあり小学校との違いに戸惑う生徒もいましたが、学習の成果を発揮している生徒がたくさんいました。放課後に地域未来塾で学習をしたり、友達同士で教え合いをしたりする姿も見られ、生徒一人ひとりの「頑張ろう」という意識が高まっていることがうかがえました。2学期、3学期にも定期考査があります。努力することの大切さや、自ら学ぶ意欲を育てていくことが、今後の成長にとって大きな財産になっていくはずです。今回の定期考査で思うように学習が進まなかった人は、その反省を次回の定期考査で活かしていきましょう。



さて明日から夏休みが始まります。夏休みを学習や部活動、習い事で忙しく過ごす人もいますが、夏休みは心と体を整える大切な期間でもあります。その中で、特に意識していただきたいのが睡眠です。OECD(経済協力開発機構)の調査によると日本は加盟国38か国の中で 1 番睡眠時間が短いとの調査結果が出ています。中学生も例外ではありません。個人差はありますが厚生労働省の示す中学生に推奨される睡眠時間は 8～10 時間です。睡眠が不足すると、疲労が蓄積しやすくなり、集中力や意欲の低下、情緒の不安定さにもつながります。また、睡眠中に日中に学んだことが脳の中で整理され、長期記憶として定着されます。「寝る＝サボる」ではなく、「寝る＝学習の一部」と考え、正しい睡眠習慣を継続していきましょう。夏

休み中に生活リズムを崩すことなく、元気な姿で2学期の始業式を迎えてくれることを楽しみにしています。2学期以降も引き続き、どうぞよろしくお願いいたします。

～夏休み明けの主な予定～

1 日 始業式(式服) 給食あり

※二者面談を 5 日まで行います。夏休み中の変化等、担任が聞き取ります。また、楽しかったこと、良い経験や体験なども共有できると嬉しいです。

13 日 区一斉防災訓練(引渡訓練) 学校説明会

17 日～19 日 2 年生職場体験

18 日～20 日 3 年生修学旅行

18 日 給食試食会(PTA 主催)

26 日 全学年 実力テスト

